

広報

たっこ

2014
平成26年

8

大きくなあ〜れ！

県境産廃現場で県民植樹祭が行われ、多くの方が植樹に参加しました。(詳しくは7ページをご覧ください)

CONTENTS

- 議会だより…………… 2
- トピックス…………… 6
- お知らせ…………… 8
- 公民館情報…………… 10
- 図書館情報…………… 11
- 情報スクランブル…………… 12



たっこ王子

たっこにんく
イメージキャラクター

平成26年第2回(6月)定例会

第2回定例会は6月11日から12日までの2日間の会期で開かれ、山本町長の提案理由が示されたあと、専決処分、条例改正案や平成26年度補正予算案等全21件を審議し、原案どおり可決しました。

一般質問の概要は、次のとおりです。

※掲載は要旨のみ、全文ではありません。

★一般質問

◎人口減社会と田子町の在り方について



●沢口博二議員

①現状、そして将来につき、どのように認識しているかを伺う。

②それに対する行政の可能性、役割について示せ。

▼山本町長

①日本創成会議の人口減少問題検討分科会から、「2040年に20歳から39歳の若年女性の流出により全国の896市区町村が「消滅」の危機に直面する」という

試算が発表された。青森県内では87・5%が「消滅可能都市」となり、秋田県に次ぎ全国2番目に高い割合の試算となっている。

当町では、1955年の1万1273人をピークに、5年間ごとに平均して約500人の人口が減り続けている。2010年では6175人となり、2025年には4569人、2040年には3259人になると推計されている。

②一点目は、子どもを生育する環境の整備、働く場の確保や田子町内への移住・定住の推進、人口減少



●山本晴美町長

の幅を小さくするような政策、施策の展開。

二点目は、職員が地域に足を運び、地域の歴史や成り立ちを踏まえ、住民ニーズを汲み取り、地域の実態に寄り添いながら、住民・事業者主体の取り組みを支援することが大事な役割ではないかと考える。

◎アンテナショップと六次産業化について

▼沢口議員

①アンテナショップの目的と、今後の検討について示せ。

②現在進行中である美人華会議の中間報告と方向性を示せ。

▼山本町長

①地域の特産品などを地域外で販売し、観光情報の発信や商品の売れ筋情報の取得を目的に設置されている。関東方面にアンテナショップを設置した二戸市などの情報を収集しながら、

今後とも検討してまいりたい。

②昨年9月に農業の活性化や所得向上を目的とした



美人華プロジェクト委員会

「田子町農産物美人華プロジェクト委員会」を設立して以来、農業者や商工業者、一般町民を対象とした研修会、委員の意見交換会を開催した。

研修会では、日本の農業を取り巻く環境や生産・販売状況などについて情報紹介を受け、少子高齢化時代における田子町農業の発展の可能性について様々な提案がなされた。

また、委員の意見交換会では「ごま」や「はちみつ」等、新たな作物の導入や販売戦略の検討、土作りにこだわった有機農業等、様々な取り組みへの検討を行っている。

さらに、東京等8県1市

のアンテナショップを視察し、購買客数や品揃え、陳列方法や販売促進活動など様々な勉強をしてきた。

委員会設立の目的である「田子町農業の活性化と農業者等の所得向上」を具体的に実現していくために、本年度末を目処に委員会としての方向性を示していただきたいと考えている。

◎職員採用試験の基準点等について

▼沢口議員

職員採用試験の合格基準点の採用年時と改善する検討について伺う。

▼山本町長

一次試験は県下町村の統一試験を実施している。数年前までは各年ごとの受験生の点数等を比較し、職員採用をしていたが、平成22年度からは各試験の「2割5分以上の正解数」を最低限の点数として運用し、毎年この基準を上回る成績上位者を採用している。

昨年の全国平均の正解率は4割から5割程度と難易

度が高いものであり、40問中、2割5分以上である10問以上の正解数を受験生に求めることは、妥当性を欠くものとはならないと考えている。

一次試験の後、二次試験において一人ひとりの人物や能力等を審査し、町職員として十分な能力があると評価した者を合格者としている。今後、全体の平均点や当町受験生の点数の上昇次第では、この基準の見直しが有り得ると思われるが、ある一定の成績を収めた受験生を職員として採用するため、今後も継続して運用してまいりたいと考えている。

◎再生可能エネルギーについて



●尾形憲男議員

①電気料金の高騰などによ

り各事業の経営を圧迫している。これに対し自然エネルギー（再生可能）にシフトする誘導政策がとられているが、当町の取り組みについて伺う。

②公共施設の光熱費が維持費に占める割合及び金額と、代替（再生可能）エネルギーに転換していく可能性について。また、C A冷蔵庫への太陽光発電利用について伺う。

▼山本町長

①青森県内においては、住宅用太陽光発電関連の独自の補助を8市町村で実施しているというが、当町においては冬期間の降雪期には発電効率が減少することもあり、普及には難しいものがあると考えている。当面は各一般家庭や事業所において節電を心がけ実施していただくような、自助の取り組みをお願いしていくことが得策と考えている。誘導施策の実施については、将来の研究課題としていきたい。

②「役場」、「公民館2



中央公民館

館」、「各小中学校4校」、「診療所・老健」、「せせらぎの郷」、「タプロコピアンプラザ」の10施設と、指定管理者に委託している「ガリックセンター」と「C A冷蔵庫」を合わせた12施設の維持費の合計は、平成24年度決算では1億2517万5千円。光熱費は4158万9千円。率にすると33・2%となっている。にんにくC A冷蔵庫は、平成24年度の維持管理経費の内、電気料金は842万1千円。率にすると59・2%となっている。太陽光発電利用について、当施設は高台にあり、風が非常に強く周囲から石などが飛んでくるため、発電施設が破損

するおそれがある。また、太陽電池パネルを設置するには施設の強度が不足しており、日照量も充分ではなく発電力が安定しないものと思われる。

再生可能エネルギーは設備投資の負担が大きい。公共施設への利用については、今後慎重に研究していきたい。

◎ふるさと納税について

▼尾形議員

これまでの実績と、これからの取り組みについて伺う。

▼山本町長

ふるさと納税が創設された平成20年度から25年度までの実績として、延べ118人、416万6千円となっており、奨学資金基金に全額積み立てしている。

平成25年度は、県外46人112万円、県内27人53万8千円、合計73人165万8千円となっている。

今後は、募集の強化と手続きの簡素化をはかり、お礼の品の増強やパンフレッ



お礼の品の1つ「田子町特産品セット」

ト及びホームページのリニューアル等、他町村の例も参考としながら調査検討を重ねている。ふるさとを応援したいという思いが田子町の活力につながるよう、積極的に推進・奨励していきたい。

◎基礎自治体としての存続について

▼尾形議員

①人口減少、流出にどう取り組むのか将来の推計を合わせて示せ。

②産業、雇用の創出なくして人口減に歯止めがかからない、重点施策としての取り組みを示せ。

▼山本町長

①田子町の国勢調査人口

は、2025年には4569人、2040年には3259人になると推計されている。

こうした状況において、人口の減少・流出を防ぐには、町内での働く場の確保と、働く場は町外でも町内に住んでもらうことが重要であると考える。企業・事業の誘致や、町内において新たな起業、新規事業展開への支援などを実施する他、

林業生産も含む森林・自然域の管理などから働く場を模索し、確保していきたい。

また、若者世帯等に対する家賃や保育料の一部助成、子ども医療費の無料化及び通勤費用の一部助成などを実施し、他町村に比べて暮



子ども健診の様子

らしに係る経費が少ないことをアピールしながら、田子町内への移住・定住を推進し、人口減少・流出の幅を小さくするような政策、施策に取り組んでいきたい。

②重点施策として、農業の六次産業化推進事業や年間を通じたイベントの実施などが挙げられる。

農業の六次産業化推進事業として、田子町農産物美人華プロジェクト委員会を設置した。農業者による研修会を実施し、農業に対して様々な角度から考える大切さを学び、現状における問題点や今後の経営方針など様々な意見交換が活発に行われた。

「にんにくとべごまつり」をはじめ、年間を通じた「田子らしさ」のある四季折々のイベントを実施し、にんにくを中心とした町の特産品を多くの皆さんにPRすることにより、ビジネスチャンスの広がりが図られるものと思っている。

雇用対策として、新規業者等を町内事業者が雇用した場合、事業者に対し雇

用奨励金を交付する「田子町定住化雇用促進事業」がある。現在、複数の利用事業者があり、今後も増えるよう利活用を促進を進めていく。

◎地域資源を活用した町づくりについて



●日沢一雄議員

- ① たつこブランドにんにくの更なる振興について
- ② 豊かな自然を活かした町づくりについて
- ③ きれいなおいしい水の活用について
- ④ 再生可能な自然エネルギーの活用について
- ⑤ 新しい豊かな発想とバイタリティあふれる若者による地域活性化について

▼山本町長

① 連作障害の対策について、原因の1つは肥料成分

の過剰または欠乏によるもので、土壌診断を行い、ほ場等が適正な成分バランスになるよう肥培管理をすることが大切である。

イモグサレセンチュウも

大きな原因となっており、健全な種子への更新、植付け前の種子の消毒、ほ場の排水対策、早期の収穫と収穫後の乾燥処理といった対策を複数組み合わせ、総合的な方法が有効と考えられ、また、堆肥の投入による土作りも効果があるとされている。加えて、ほ場の土壌消毒も効果が見られ、全農と八戸農協、県の普及振興室により、町内のほ場において効果実証試験が行われている。1年目の試験では被害の軽減効果が認められ、現在2年目の試験結果を待って支援対策を検討したい。その他にも、イモグサレセンチュウ対策に独自に取り組みたいという生産者の方には、本年度から実施している農業先進技術チャレンジ支援事業を活用し、効果を検証していただきたい。



にんにく加工品

商品開発について、にんにくを使用した加工品は、田子ブランド認定委員会が審査を行い、認定された商品はパンフレットやホームページ等で紹介されている。また、商工業者の中から新たな経営者を育てるため、専門的アドバイザーによる業務支援を受けることとなっており、新しい加工品開発への取り組みに期待している。

流通販売戦略について、「たつこにんにく」の地域団体商標権を持つ八戸農協との協力はもとより、それ以外のにんにく生産・加工関係者との新たな取り組みに対する施策も展開していきたい。生産・販売などは「たつこにんにく産地力強化戦略」の基本方針を中心とし、産地目標である販売



田子小からの風景

額15億円の実現に向け検討する。

② 田子町には都会の人たちがあこがれる自然がたくさんあるが、人口の減少に伴い空き家もかなり生じてきた。平成24年11月時点で198軒あり、空き家の有効活用と定住促進による地域の活性化を目的として、「空き家バンク」の制度を

26年3月から実施している。移住・定住を促進する制度の一つとして引き続き継続し、空き家の所有者の皆さんに利用していただきたい。なお、この空き家バンク情報は、町のホームページの他に、国の出先機関である一般社団法人「移住・交流推進機構」の「空き家バンク・住まい情報」サイトを通じて全国に情報発信されている。

また、長期・一時滞在については、一定期間町が借り上げた「移住体験住宅」を設置し、田舎暮らし希望者を受け入れ、田子町の環境や雰囲気を知ってもらう方法を検討している。

都市と農村の交流を通じた都市住民の移住・定住については、人口減少対策として重点的に取り組んでいくべきものと考えている。

③平成19年度当時にペットボトルでのミネラルウォーター製造事業について検討したが、初期投資でおよそ1億円の経費が必要とすることだった。近年、ミネラルウォーターの市場は縮

小傾向で、価格競争が激化しており、今年3月の八戸圏域水道企業団の榎本氏を迎えての研修会では、5〜10万本を販売しないと利益が出ないと述べていた。さらに、販路、流通ルートの確保が困難なことが予想され、現状での飲料水販売事業は厳しいと考えている。水資源の活用については、今後も議会とともに探っていく必要がある。

④今年2月に八戸工業大学に調査委託をし、田子町内の町有地や遊休農地を主に、「再生可能エネルギー導入可能性調査」を実施したところ、メガソーラーで5カ所、小水力発電で2カ所が有望であると結果が報告された。しかし、メガソーラー施設では東北電力の系統に連係できるかどうか、小水力発電では期待できる発電出力が1kw程度であることが判明している。

バイオマス発電については、県境産廃不法投棄跡地において検討してきたが、原料の安定的確保や東北電力の系統に連係する問題な

どから、その計画は現在頓挫している。

今後、公共用地や遊休農地などを対象として、企業誘致及び町内企業の事業拡大に係る支援のための土地利用計画を、今年度末を目処に行政内部計画として策定することとしている。この土地利用計画と整合性を図りながら、事業に利用できる土地と、メガソーラー候補地が一致すれば、民間事業者による利用を公募し、メガソーラー事業を実施してもらおうことなども検討したい。

⑤「地域おこし協力隊」の制度は、地域外の人材を積極的に誘致し定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を目的とする取り組みである。

具体的には、田子町が都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、1年以上3年未満の一定期間、農業の六次産業化や町の宝（魅力）発見と情報発信などの支援、各種の地域協力活動に従事してもらいながら、田子町への定住・



平成25年度協働のまちづくり町民会議の様子

定着をねらいとしている。なお、現在、都市部に住民票のある田子町出身の若者は、この制度を活用してのUターンは可能であると思っている。

また、既に田子町に住民票のあるUターン青年や地元若者については、「町独自の地域おこし協力隊員」として委嘱することは可能だが、現在のところは都会で暮らした経験や若者の新たな視点を活かして、一町民として協働のまちづくり町民会議や各種協議会などに積極的に参画し、意見を述べながら、まちづくりに参加していただきたい。

田子町を体験した6日間～ギルロイ市高校生短期研修～



研修団はプログラムの中で町内各学校を訪れました。上郷小学校では児童が英語を交え

6月20日から25日、姉妹都市アメリカギルロイ市から高校生8名、引率者2名の研修団が来町しました。これは、ギルロイ市の非営利団体「ギルロイー田子短期留学プログラム（GTS EP）」による、青少年の国際教育を目的とした海外派遣事業で、今年度で5回目の来町となります。



学校の紹介をし、一緒にダンスを楽しみました。田子高校ではニヤドヤラを体験し「難しい！」と苦戦しながらも楽しく交流しました。踊った後は、神楽の衣装を着せてもらったり、太鼓をたたいてみたりと、初めて経験する日本の文化に興奮した様子でした。また、ガリックセンターで中学生に教わりながら折り紙と習字にも挑戦し、交流を深めました。



化について幅広く学びました。さよならパーティーのスピーチでは「ガリッククインになったって必ず田子に戻ってきます！」と述べた生徒もあり、充実した内容の6日間でした。

みろくの滝や創遊村などにも訪れたほか、にんにく収穫祭にも参加し、田子町や日本文化について幅広く学びました。

掘って食べて生にんにくを堪能～にんにく収穫祭～

6月21日から6月29日、田子にんにく収穫祭が行われました。これは、にんにく収穫祭実行委員会（佐藤裕一実行委員長）の主催によるもので3回目の開催となります。

21日には、田子町農山村広場を会場にオープニングセレモニーがあり、佐藤実行委員長や山本晴美町長によるあいさつその他、短期研修で来町していたギルロイ市高校生の紹介がありました。その後、田子神楽保存会による「傘舞」と「切番楽」が披露され、収穫祭の成功を祈願しました。



セレモニー後にはにんにく掘り取り体験が行われ、今年も町内外からたくさんの方が参加して掘り取り体験を楽しみ、自分で収穫した生にんにくを手に満足そうな様子でした。22日には、近隣市町村のご当地キャラが参加し会場を盛り上げました。29日は

八戸市発着のシャトルバスも運行され、イベント期間中で約2600名が会場を訪れました。また、下本町地区の畑では収穫交流会が行われました。これは、男女の出会いの場を作り、

町の後継者確保や若者定住へつなげようと、田子町後継者育成協議会「たんぼの会」（熊谷和広会長）の主催により開催されたものです。町内外から約30名の男女が参加しました。参加者らは、にんにく掘りや根切りを行い、その後、会場を移してバーベキューを囲み交流をはかりました。

期間中は他にも、対象店舗をまわってシールを集めて抽選を行う「産直じゃごじゃごスタンプラリー」や、生にんにくを持ち込んで期間限定メニューを楽しむ「今だけメニュー」などが、多くの催しに参加者を楽しませました。

県民植樹祭 「美しい山への再生」

6月22日、県境産廃不法投棄現場跡地にて県民植樹祭が行われました。町内外から約460名が参加し、町内の山林から採取・栽培された苗木を植えました。ミズナラやヤマツツジなど29種、約3万5千本を今年度から来年度にかけて植樹する予定となっています。この日は晴天となり、日差しが照りつける中での作業となりましたが、シャベルで穴を掘り植える場所や葉の向きなどを森林組合の方に確認しながら作業を進めました。三村青森県知事も



澤口議長（左）と三村知事（中）、山本町長



植樹の様子

植樹に参加し、山本町長、澤口町議会議長、田子の声100人委員会の中村忠充会長らと共に苗木を植えました。三村知事は「田子の皆様方には、スタートして11年という長い年月がかかってしまいました。約束通り完全撤去し、復元に取りがかれたことは感慨深いものがあります。地元の皆様のご協力を得て、いい山へ戻していきたいと思えます」と述べました。

参加者らは「大きくなったら見に来なくては」と、田子町の自然がよみがえることを期待し植樹を終えました。

田子地域大学 「南部美人の挑戦」

6月16日、中央公民館で田子地域大学主催の講演会が開催されました。講師に岩手県二戸市の「株式会社南部美人」5代目蔵元、代表取締役社長の久慈浩介さんをお招きし、「南部美人の挑戦〜メイドイン岩手を世界へ〜」と題し講演しました。久慈さんは、いかにして世界へ向けて日本酒を、南部美人を広めていったのか、様々な体験や多くの方々との出会ったエピソードを交え、熱っぽく話されました。



五代目蔵元の久慈さん

「南部美人」は2010年

サッカーワールドカップ南アフリカ大会でFIFA公認日本酒の1つとして認定され、今年のブラジル大会でも続けて認定されました。講演後は、講話の中で紹介されたFIFA公認日本酒などを飲みながら久慈さんを囲む会が行われました。

この囲む会の収益金5万円と、会場で募金のあった2万2千円余は、田子高校郷土芸能部の浴衣購入費用の一部支援金として寄付されました。

鳥獣被害対策実施隊 委嘱状交付式

7月8日、田子町猟友会の会員24名を対象とし、鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式が行われました。この日は代表して、青森県猟友会田子支部長の宮村美博さん（72・矢田郎）、副支部長の深沢茂泰さん（63・清水頭）、書記の堀合輝彦さん（57・宮野）が出席しました。これまでの対策は、熊などの出没情報があった際に猟友会へ声掛けをし、5

名程度で見回りをしたり罠を仕掛けていました。支部長の宮村さんは「隊を組織することで、3班に分かれ、相米・上郷・清水頭とローテーションを組んで対応することができると組織化することの利点を述べていました。また、「昔は熊にも縄張りがあり、それぞれ縄張りを侵すこともなかったが、最近は縄張りもなくなり、農作物の味をしめた親熊に育てられた子熊は、里へ下りるのが当たり前となっている。熊に限らず、野生の動物には十分気をつけてもらいたい」と注意を促しました。



委嘱を受けた堀合さん（左）、深沢さん（中）、宮村さん

■ 平成26年度風しん抗体検査とワクチン接種費用の助成について

町では、現在流行している風しんの感染予防を図るため、風しんの抗体検査とワクチン接種の費用を無料で実施しています。

対象者は田子町に住所のある

- ①妊娠を予定または希望する者
- ②妊娠を予定または希望する者の同居家族
- ③風しんの抗体価が低い妊婦の同居家族です。



実施期間は27年3月31日までです。

▼申し込み先・お問い合わせはせせらぎの郷まで
役場健康増進課健康増進グループ ☎20-7100

■ 田子町住宅リフォーム支援事業について

町では、安心して快適に暮らすためのリフォーム工事、高校生用下宿・グリーンツーリズム事業・国際交流事業でのホームステイの受け入れを目的としたリフォーム工事に対し、補助金を交付します。

▼補助金額

対象工事費20万円以上となる、住宅の機能の維持・向上のために行う改築、増築及び設備工事で、対象工事費の10%を補助し、上限額は20万円とします。

ただし、グリーンツーリズム事業、国際交流事業におけるホームステイまたは高校生用下宿生受け入れのためのリフォーム工事については、対象工事費の15%を補助し、補助金上限額は30万円とします。

▼申込期間

平成26年7月1日から平成27年2月28日まで
※工事着手前に申請が必要となりますので、事前にお問い合わせください。

☎ 役場建設課建設グループ ☎20-7117

■ 登記相談ご利用の皆様へ

青森地方法務局では、お客様を長時間お待たせすることのないよう登記相談を予約制により行うことといたしました。

登記相談をご利用の際にはお手数をおかけいたしますが、事前に予約をしてお越しいたしますようお願いいたします。

【青森地方法務局八戸支局】

月曜～金曜日（祝日・年末年始は除く）
午前9時～正午、午後1時～午後4時30分

◎相談予約は

▽電話の場合 「登記相談予約」の旨お伝えください。
☎0178-24-3346

▽来庁の場合 窓口担当者へ直接申し込んでください。

■ 平成26年度の介護保険料を通知しております

平成26年度の介護保険料の決定通知書をお送りしております。

介護保険料は、田子町で必要な介護サービス費用がまかなえるよう算出されており、平成24年度から平成26年度までは月額基準額5,840円となっております。

▼保険料の額

介護保険料の額は、世帯や本人の所得状況に応じ、月額5,840円を基準として6段階に分けられ、それぞれ徴収される保険料額が異なります。

▼保険料の納め方

介護保険料の納め方は、特別徴収と普通徴収に分けられます。

特別徴収は、年金を年額18万円以上受給されている方が対象で、年金から差し引かれます。

普通徴収は、年金を年額18万円未満受給されている方、平成26年4月1日以降に65歳に達した方などが対象となり、町から送付される納付書で金融機関に納めていただきます。

▼納期

納期は7月、9月、11月、1月の年4回です。

▼保険料を滞納すると……

災害等特別な事情がないのに滞納が続いていると次のような措置がとられます。

- 介護費用がいったん全額自己負担になります。
- 一時的に保険給付が差し止めとなります。
- 介護保険料未納期間に応じて利用者負担が3割（通常は1割）に引き上げられます。

このようなことにならないように納め忘れに注意しましょう。



◎特別徴収に関すること

☎ 役場健康増進課介護支援グループ（せせらぎの郷）
☎20-7100

◎普通徴収に関すること

☎ 役場税務課税務グループ ☎20-7112

■ 「あおもり中高年就職支援センター」のご案内

45歳以上の就職希望者を対象に、キャリアカウンセリングや再就職支援セミナーを行います。

◎キャリアカウンセリング（原則予約制1人1時間程度）

八戸 毎週水・金 いずれも午後1時～3時

※ 利用料無料

※ カウンセリングの開催場所や、再就職セミナーの開催予定など、詳しくはお問い合わせください。

☎ 青森市長島二丁目13-1AQUA 青森スクエア6F
あおもり中高年就職支援センター
☎017-715-5816

『みちのく・ふるさと貢献基金』助成事業募集のお知らせ

公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金では新規事業参入や開発・研究を行う県内の個人、NPO法人及び企業等に対し、必要な費用を助成します。

▼助成金額

必要費用の2分の1以内で、300万円を限度とする。

▼対象者・対象企業

青森県内の個人、NPO法人及び企業等で助成金給付後、事業・研究報告書を提出できる方

▼応募資格等

- (1)新興企業並びに事業拡大を目指し新規事業参入や開発・研究を行う県内の個人、NPO法人及び企業等
- (2)平成27年4月1日～平成28年3月31日までに実施する事業であること
- (3)助成金給付後、事業・研究報告書を提出すること
※ 次の企業等は対象外とします。

過去3年以内に当財団の助成金を受けた企業等

▼応募期間 7月1日(火)～9月30日(火)まで

▼応募先・お問い合わせ

公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金事務局

☎017-774-1179 担当/佐藤・川村

〒030-8622 青森市勝田一丁目3-1

※応募要項と申請書はホームページからダウンロードできます。URL:<http://www.michinoku-furusato.or.jp>



一部窓口業務の時間延長について

町では、仕事等により開庁時間に窓口に来られない方々の利便性を図るため、電話予約があった場合に一部窓口業務の時間延長を行っています。

▼実施時間 平日午後7時まで

(当日午後5時までに電話での予約が必要です)

▼持参いただくもの ①身分証明書(免許証等) ②印鑑

▼実施業務

【住民課】 次の書類を発行します。

- ①住民票の写し ②印鑑登録証明書 ③戸籍証明書 ④身分証明書

※ 転入・転出等の住民異動及び印鑑登録は平日午後5時までの取り扱いとなります。

※ ②印鑑登録証明書の発行には、併せて印鑑登録証が必要となります。

【税務課】 次の書類を発行します。

- ①納税証明書 ②標識交付証明書 ③事業証明書 ④所得証明書 ⑤課税非課税証明書 ⑥資産評価証明書 ⑦資産公課証明書 ⑧無資産証明書 ⑨図面交付・台帳閲覧

問 役場住民課住民環境グループ ☎20-7113

問 役場税務課税務グループ ☎20-7112

屋外広告物の規制制度が変わります

『屋外広告物』とは常時または一定の期間継続して屋外で公衆に表示されるもので、看板、立看板、はり紙やはり札、広告板、広告塔、のぼり旗、そで看板、建物の壁面や屋上に表示する広告物などがあります。

▼許可道路を追加指定します

田子町における許可道路(追加指定を含む)は

- ①国道104号線 ②県道田子十和田湖線 ③県道二戸田子線 ④県道南部田子線 ⑤県道道前浄法寺線

▼禁止道路を追加指定します

田子町における禁止道路はありませんが、広告物を表示・設置できない禁止地域があります。

▼許可道路における許可基準を緩和します

広告板・広告塔については、許可道路の路肩端から100m以内は掲出することができませんでしたが、後退距離基準を撤廃し、掲出できるようになりました。

▼広告物の許可期間の更新制度を設けます

許可の期間が満了する日の2週間前までに、申請に必要な書類を提出し更新の手続きをしてください。

▼変更の許可を要しない「軽微な変更」の規定を追加します

▼禁止地域における適用除外の許可基準を定めます

禁止地域において許可を受けて掲出できる広告物(案内板、道しるべ)の許可基準を定めます。

◎上記道路①～⑤の沿線に広告物の掲示または表示する場合は許可が必要です。商業広告に限らず、各種団体や個人が掲出する非営利目的、公共目的の看板なども対象となります。詳しくはお問い合わせください。



問 役場建設課建設グループ ☎20-7117

問 青森県都市計画課都市計画・景観グループ

☎017-734-9681

個人事業税について

個人事業税は、物品販売業、請負業、不動産貸付業、医業、理容業などの事業を営む個人の方に、前年中の所得をもとに課税される県の税金です。

8月上旬に送付される納税通知書により、原則として8月と11月の二期に分けて納めていただきます。

今年度の第一期分の納期限は9月1日です。期限までにお近くのコンビニエンスストアや金融機関などで納めてください。

※詳しくは、県庁ホームページの検索キーワードに「個人事業税」を入力してください。

問 三八地域県民局税部課第一課

☎0178-27-5111 内線208

■行事等に関するお問い合わせは、田子町教育委員会スポーツ・社会教育グループ (☎20-7070) または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

第22回青森県民駅伝競走大会

「健脚でつなげ郷土の和と心」をスローガンに、第22回青森県民駅伝競走大会が、9月7日に開催されます。



県観光物産館アスパム前を出発点として、県総合運動公園を決勝点とする33.8kmを8

人のランナーでたすきをつなぎます。

田子町チームは、選抜されたメンバーが、日々練習を重ね、全力を尽くします。

○正午スタート

当日は、青森放送テレビ(RAB)にて大会の様子が放送されます。

第60回田子町民大運動会

プログラムを新たに「第60回田子町民大運動会」を開催します。

当日は、参加者全員に参加賞を用意し、上位入賞には賞品もあります。また、どなたでも参加できる種目やアトラクションも多数ありますので、町民みなさんの参加をお待ちしております。

▽とき 9月14日(日) 9時20分～

▽場所 県立田子高等学校グラウンド

※詳細は、全戸配布されるチラシをご覧ください。

新発見！～町内健康ウォーキング～

(第3回報告)

3回目のウォーキングは、清水頭コース(川向～堅田～清水頭～袖平～川代～大王～清水頭小学校)をウォーキングしました。

バスで川向まで移動し、川向橋付近でストレッチを済ませ出発しました。歩き始めは霧雨でしたが、清水頭小学校付近では、雨具を出さなければならなくなるほどの雨模様となりました。

清水頭地区にある姥ヶ岳神社で参拝した後、保管されている奇峰学秀作の仏像を見学した頃には雨もあがり、最後まで曇り空のウォーキング日和に恵まれました。

姥ヶ岳神社のそばを何十年と通っていましたが、仏像を拝見する機会がなく今回は神社の中に入り、じっくりと拝見することができ、感慨深いものがありました。



姥ヶ岳神社入口

毎回、「新発見」があり、次回(7/27田子西コース)は何が発見できるか楽しみです。次回からの参加も可能ですので、参加されたい方は、中央公民館へお問い合わせください。

第66回三戸郡総合体育大会競技結果

相撲競技団体戦11連覇、バドミントン競技2連覇

6月14日・15日の2日間(一部競技別日開催)、田子町を主会場に第66回三戸郡総合体育大会が開催されました。

郡内から1300人を超える役員、選手が集まり、日頃の練習の成果と町の名譽をかけて、熱戦が繰り広げられました。

競技結果は、総合では5位となりました。優勝競技は、相撲競技が団体戦11連覇、バドミントン競技が2連覇を飾りました。

各競技の上位入賞をお知らせします。

☆団体競技

◎第1位 相撲競技(11連覇)、バドミントン競技(2連覇) ◎第2位 弓道競技 ◎第3位 バレーボール競技男子・女子、卓球競技男子、サッカー競技

☆個人競技(個人の部入賞)

【第1位】

◎相撲競技 野崎将大 ◎弓道競技 清水秀幸

【第3位】

◎陸上競技 40歳以上男子2000M 菊地 保

◎相撲競技 沢口和正 ◎弓道競技 久保淳一

みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

●ヨガ健康講座

▽とき 8月28日(木) 午後7時～9時▽ところ 公民館和室▽持ち物 ヨガマットまたは大判バスタオル

●生花講座

▽とき 8月30日(土)▽ところ 公民館研修室▽持ち物 花はさみカッター▽参加費 1,000円前後(花材料代)▽申込先 中央公民館へ電話で申し込みください。

●水曜わんぱくじゅく(夏休み特別企画)

▽とき 8月6日(水) 午前9時～午後3時▽ところ 上郷公民館研修室 ※詳しくは後日配布のチラシをご覧ください。

●水曜わんぱくじゅく

▽とき 8月27日(水) 午後3時～午後5時▽ところ 上郷公民館研修室

●フラワーアレンジメント

▽とき 8月26日(火) 午後7時～

9時▽テーマ「秋の花」▽参加費 2,000円～3,000円▽持ち物 花はさみ、カッター、ゴム手袋、移植ペラ等▽申込先 上郷公民館へ電話で申し込みください。

●神楽講座開講日のお知らせ

▽とき 8月8日(金)・29日(金) 午後7時～午後9時▽ところ 中央公民館ホール、和室▽対象 受講中の小中学生及び高校生

図書館情報

夏休みは図書館へ

「おばけ」の絵本、「中学生・高校生におすすめ」の本

●「おばけ」の絵本特集

図書館では、子どもたちが大好きな「おばけ」「ゆうれい」「ようかい」が出てくる絵本約50冊を展示・貸出します。この季節にぴったりの絵本を、どうぞご家族みなさんでお楽しみください。



どんなおばけがいるのかな？

- おばけのひやめしや
- おばけサーカス
- うさこちゃんおばけになる
- おばけのバーバパパ
- ハンタイおばけ

●「中学生・高校生におすすめ」の本

勉強や部活動で忙しい中学生、高校生にとって、時間に余裕がある夏休みは読書に親しむチャンスです。図書館にはおすすめ本を集めた「ティーンズコーナー」があります。この機会にお子さんと一緒に、本の楽しさに触れてみませんか？

- 中学校国語教科書で紹介している本
- 勉強、進学に関する本
- 仕事に関する本
- コミック
- 小説、物語など

ティーンズ以上の方にも人気のティーンズコーナー



図書館おやすみカレンダー

| 2014 7月 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

▼色の濃い日が休館日です。

※ 8/13(水)～8/15(金)は午後4時で閉館します。

| 8月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

田子町立図書館 ☎20-7221

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

8月の図書館行事

- ▼8/2(土) 午前11時
読書マラソン表彰式
- ▼8/2(土) 午前11時15分
紙芝居と本の読みきかせ
- ▼8/6(水) 午前10時
赤ちゃん絵本の紹介／せせらぎの郷
- ▼8/23(土) 午前10時30分
本の読みきかせととしょかんクラブ
折り紙で「かきごおり」を作ろう
- ※8/9(土)の本の読みきかせととしょかんクラブはお休みです。

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日(館内整理日)

新刊案内

●パソコン

- ▽今すぐ使えるかんたん Excel 2013の困った!を今すぐ解決する本/007イ
- ▽今すぐ使えるかんたん Windows 8.1完全ガイドブック困った解決&便利技/007イ

●教育、社会など

- ▽学年ビリーのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話/坪田信貴/376ツ
- ▽英国一家、日本を食べる/マイケル・ブース/383ブ

●医学

- ▽食べものだけで余命3ヶ月のガンが消えた/高遠智子/498タ

●料理

- ▽季節の野菜を味わう漬け物と常備菜/596キ
- ▽クックパッドのおいしい厳選! 野菜レシピ/596ク

●歴史・時代小説

- ▽極楽日和/立場茶屋おりき15/今井絵美子/913イ
- ▽凜として/立場茶屋おりき16/今井絵美子/913イ
- ▽恋情の果て/北原亜以子/913キ
- ▽遺文/吉原裏同心21/佐伯泰英/913サ
- ▽わけあり師匠の顛末/物書同心居眠り紋蔵13/佐藤雅美/913サ
- ▽戌亥の追風/山本一力/913ヤ
- ▽利休の茶杓/とびきり屋見立て帖4/山本兼一/913ヤ
- ▽秋はまぐり/料理人季蔵捕物控17/和田はつ子/913ワ
- ▽冬うどん/料理人季蔵捕物控18/和田はつ子/913ワ

●ミステリー・警察小説など

- ▽心霊探偵八雲/祈りの枢/神永学/913カ
- ▽十津川警部悪女/西村京太郎/913ニ
- ▽十津川警部日本縦断長篇ベスト選集36/西村京太郎/913ニ
- ▽満願/米澤穂信/913ヨ

●そのほかの小説など

- ▽迷子の王様/君たちに明日はない5/垣根涼介/913カ
- ▽僕とおじいちゃんと魔法の塔4/香月日輪/913コ
- ▽星々たち/桜木紫乃/913サ
- ▽男ともだち/千早茜/913チ
- ▽盲目的な恋と友情/辻村深月/913ツ

●エッセイ

- ▽寂聴まんだら対談/瀬戸内寂聴/914セ

■警察署コーナー



●夏休みにおける少年の非行や犯罪被害を防止しよう

子どもたちは夏休みという開放感や気の緩みから、生活のリズムが乱れがちになります。また、祭りなどで夜間出かける機会が増え、深夜はいかい、無断外泊、飲酒・喫煙等の不良行為に走ったり、万引きを犯したり、インターネットで知り合った者から性犯罪に遭う危険性もあります。

子どもたちを非行や犯罪から守るためには、親子の対話を大切にし、地域社会において子ども一人ひとりに目を配り非行を見逃さないようにし、犯罪の被害をかけたあげましょう。

■消防署コーナー



●楽しい夏休みを過ごす

楽しい夏休みがやってきました。この時期は、花火やお盆の迎え火・送り火による火災、また、海や川、プールでの事故が発生しやすいので、次のことに注意しましょう。

【花火遊び】

- 大人と一緒に遊ぶ
- 水バケツを準備する
- 広い場所で遊ぶ
- 人や建物に絶対向けない
- 不発の花火を燃やさない
- 花火は1本ずつ遊ぶ
- 遊び方をよく読む

▽少年問題に関するご相談は《ヤングテレホンコーナー》少年相談 ☎0120-5817867 (警察本部少年課) ☎0178-2217676 (八戸警察署)

※受付は、土日祝・年末年始を除く午前8時30分～午後5時

なお、夜間・休日等でお急ぎの方は、最寄りの警察署または警察安全窓口(9110)へ

▼三戸警察署
田子警察官駐在所

【お盆の迎え火・送り火】

- 水バケツを準備する
- 風の強い日は焚かない
- 火が完全に消えるまでその場を離れない

【水遊び・水泳】

- 子どもだけで海や川、プールなどに行かない
- 泳ぐ前に健康状態の確認をする
- 準備運動を必ず行う
- 子どもから目を離さない
- 遊泳禁止の場所には近づかない
- 飲酒したら絶対泳がない

▼三戸消防署 田子分署



8月の主な保健・介護予防事業予定表

- 8月1日(金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:00 認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30
- 8月4日(月) 生きがい倶楽部 (せせらぎの郷) 午前10:00～午後2:00
- 8月6日(水) 乳児健診 (せせらぎの郷) 午前9:30～11:30
- 8月8日(金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:00 認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30
- 8月11日(月) 生きがい倶楽部 (せせらぎの郷) 午前10:00～午後2:00
- 8月18日(月) 生きがい倶楽部 (せせらぎの郷) 午前10:00～午後2:00
- 8月20日(水) 個別接種 (せせらぎの郷) 午前10:00～10:30 子宮頸がん予防接種 (せせらぎの郷) 午後3:00～4:00
- 8月21日(木) デイケア (せせらぎの郷) 午前9:30～午後1:00
- 保健推進員学習会 (せせらぎの郷) 午後3:30～午後4:30
- 8月22日(金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:00 認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30
- 8月25日(月) 生きがい倶楽部 (せせらぎの郷) 午前10:00～午後2:00 乳がん検診(～27日) (せせらぎの郷) 午前11:00～午後1:00
- 8月27日(水) 個別接種 (せせらぎの郷) 午前10:00～10:30
- 8月28日(木) つばきの会夏の教室 (せせらぎの郷) 午前10:00～午後1:00
- 8月29日(金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:00 認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30 なるほど500キロカロリー教室 (せせらぎの郷) 午前10:00～正午

健康・介護に関するご相談は せせらぎの郷へ ☎20-7100



TCV(田子町ケーブルテレビジョン) からのお知らせ

- ◎サポートセンター(月曜～金曜 午前9時～午後5時) ☎0120-557-759(祝日を除く) 加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。
- ◎故障受付(24時間) ☎0120-262-750 テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。

町の人口

平成26年6月30日現在

世帯数/2235(-1)
人口/6219(-11)
男/2975(±0)
女/3244(-11)
()内は前月比です

誕生

●^{はなと}蜂ヶ崎華永(哲治・智恵)/飯豊
※()内はご両親、“/”のあとは行政区です

お悔やみ

- 中村秀子(90歳) 上野
- 村木昌一(85歳) 道前
- 佐藤 幸(82歳) 西館野
- 山本ふさ(73歳) 下本町
- 山本ふちの(95歳) 野面
- 日沢たよ(93歳) 山口
- 七日市小三郎(83歳) 七日市
- 個人情報保護のため掲載を省略しています
- 個人情報保護のため掲載を省略しています
- ※()内は享年、()のあとは行政区です

学校の話 田子中学校

①新風革命

今年度、田子中学生徒会は

生・PTA会長から激励の言葉が送られました。壮行式には保護者の

「新風革命」をテーマにさまざまな取り組みをしています。4月は奉仕活動で部活動ごとにひまわりの種を植えました。5月はクラスごとに校庭の石拾いや草取りをしました。6月は給食の残食^{ゼロ}に取り組みました。これからも、新たな風を田子中に吹かせて田子中を盛り上げていってくださることでしよう。

②三戸郡中学校体育大会夏季大会壮行式

6月19日に郡中体連夏季大会壮行式が行われました。校長先生から生徒会長に校章旗が手渡され、各部から目標や決意表明が元氣よく発表されました。それに対して、生徒代表と校長先



(原稿・画像提供 田子中学校)

式には保護者の方々も多数見られて、生徒たちの意気込みを肌で感じ取っていました。ところで、壮行式に先立って今年度作成した応援団旗のお披露目をいたしました。関係各位のご尽力に感謝いたします。

③青森県中学校体育大会夏季大会出場決定

男子バレーボール部と相撲部、さらに陸上競技共通女子400mリレーで優勝および3位以内に入賞した生徒たちが、7月19日から行われる青森県中学校体育大会夏季大会に出場します。自分のベストを尽くしてほしいと思います。

俳句

芸文 文芸アンコピタ

（会長 田孝芳 楽 吟社 みるく）

ここよりは立ち入り禁止行々子 やなた翠芳（孝芳）

緑陰にいと山風来てとりぬ 原 瓢子（徳造）

龍神の滴りと汲む片手窪 森きよし（清）

学校田声飛ぶ泥とぶ早苗飛ぶ 大矢公江

さざ波を寄せて植田の安堵風 川村キエ

縁側にとどまる月や七変化 堀 つや子

たそがれて街の灯にじむ梅雨入かな 山本一枝子

人去りてあやめ孤高の佇まい 中村磨也（忠元）

早苗饗や一段落の顔そろへ 原 秋月（菊次郎）

遠郭公創遊村の展望台 佐藤桂水（善太郎）

編集後記

今月号では、ギルロイ市の高校生短期研修を取り上げています。みなさんは、耕田寺（写真）がいつ建立されたか知っていますか。日本はどのくらい前にできたか分かりますか？私は今回、研修団に随行したのですが、こういった高校生からの質問にすぐには答えられないことが何度もありました。学校では勉強したはずなのに、覚えていかなかったり、そこに住んでいるのに知らなかったり、当たり前すぎて気づかない「知らない事」がまだまだあるのだと、改めて感じました。違う文化の方に出会おうと、こういう発見もあるのですね。私ももっと勉強しなくては。



7月に入り、ジリジリと日が照る日も多くなってきました。水分を十分取りながら体調に気をつけて、今年の夏も楽しみましょう！（広報担当 おおくぼ）



第18代 田子町国際交流推進員 ランダルさん

みなさんはじめまして。

新しい国際交流推進員のランダル・ヒガシと申します。気軽にランディと呼んでください。

趣味は登山、ランニングと写真です。

田子町とギルロイ市の絆を強めたいと思います。

田子町の人に会えたり、一緒に働いていたりするのが楽しみです。

そして町ではいろいろな国際交流イベントを行いたいのでみなさん、ぜひ参加してください！

この1年間よろしく願いいたします！

ランダル・ヒガシ



メケウラさん、2年間ありがとう！



田子町に初めて来た日から、自分がこの町を好きになって故郷になると感じていました。そして、たくさんの友達と、決して忘れることのできない思い出ができました。

この2年間で、田子町とギルロイ市の方々の訪問を手伝いました。これは一番大事な仕事の一つです。私は、みなさんのホストファミリーへのスピーチを見るのがとても楽しみでした。なぜなら、みなさんの間に素晴らしい絆ができたことが分かるからです。この素晴らしい経験をくれた田子町に、どんなに感謝しても足りません。ギルロイに帰ったら中学校の先生になって、いつか、田子町の中学生・高校生が私の学校に来てくれることを願っています。

みなさんギルロイに来てください。私も必ず、また田子に来ます。さよならではなく、また会いましょう！

メケウラ・シーディ

イベント情報

相米慎二監督映画祭り



田子町ゆかりの人物で、相米地区にある先祖代々の墓で眠る映画監督相米慎二さんを「地域の魅力」として捉え、このたび、「相米慎二監督映画祭り」を開催する運びとなりました。

この機会に、相米監督の作品を見て、トークゲストのお話に耳を傾けてみませんか。皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

詳しくは、別に配布するチラシをご確認ください。

●日時 8月30日(土) 午後1時30分～午後5時

●場所 タブコピアンプラザ ホール

●内容

第1部：映画上映「セーラー服と機関銃」

主演：薬師丸ひろ子

第2部：トークショー

聞き手：榎戸 耕史 (映画監督)

ゲスト：田中 陽造 (脚本家)

〃 寺田 農 (俳優)

※以上の方々が来場予定ですが、スケジュール等により変更になる場合もあります。



●入場料 無料

(ただし、事前に役場で配布する入場整理券が必要。小学生以下の入場はご遠慮いただきます。)

問 役場政策推進課政策推進グループ ☎20-7127

町のみなさんこんにちは



人が多いところと、緑がいっぱいなところ。天気がいいと青空と山や森の緑がきれいで、写真におさめたくになります。

◎将来の目標は？

介護士としても、人としても、話しかけやすく信頼できる、相手にとって親しみやすい人になりたいです。

◎町への要望は？

通学路の街灯を増やしてほしいです。自分も学校からの帰り道が暗くて困ったことがあるので。

◎ひと言

この春大学を卒業し、田子に戻ってきました。仕事を始めたばかりで、まだ分からないことが多いですが、いつも笑顔で頑張ります。仕事も、利用者の方とお話しするのすごく楽しいです！

●名前：
原 千史 23歳
(はら ちあみ)

●出身地：田子町

●お住まい：石亀

●お勤め先：
社会福祉法人吉幸会
特別養護老人ホーム
みろく苑

◎趣味や特技は？

音楽鑑賞でJ-POPをよく聴きます。高校時代は、郷土芸能部に所属していたので、ナニヤドヤラは踊れます！

◎田子町の良いところは？

親しみやすく、明るい